

質問書に対する回答 1

件名	横浜環状南線 附帯工設計		
番号	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
1	金抜設計書 現地踏査	調査等積算基準5-2-3 附帯工設計 附帯構造物設計（技師A 1人、技師B 1人）の編成に附帯構造物設計 3 箇所以下の1.25日を計上すると考えてよろしいでしょうか。	各種詳細図作成・3次元モデル修正・用排水設計の13箇所を対象に設計するものとお考えください。
2	金抜設計書 設計打合せ	技術者編成と回数については下記の通りと考えてよろしいでしょうか。 ・中間打合せ：（技師A 1人、技師B 1人）×7回 ・部分使用検査：（技師長 1人、技師A 1人）×1回 ・業務内容確認検査：（技師長 1人、技師A 1人）×1回 ・完了検査：（技師長 1人、技師A 1人）×1回	工事発注用図面を含むことから当初（主任技師 1人、技師A 1人）に1回行うものとし、中間打合せ（技師A 1人、技師B 1人）では工事発注用図面作成・附帯構造物設計・標識設計・3次元モデル修正等について7回行うものであり、業務内容確認検査（技師長 1人、技師A 1人）、完了検査（技師長 1人、技師B 1人）に各1回を含む全10回の打合せを行うものです。